

最終更新日 H24.10.24
改修技術 No. 14101102

性能分野	防災性
大分類	震災後の生活性能維持
中分類	生活継続可能日数に関する項目
技術の名称	中圧ガスを利用したコージェネレーション設備の設置

- ・中圧ガス利用の大容量（数百 kW 程度）コージェネ発電機を導入した場合は、外部からの電力供給が途絶した時の電源としても役立つ。また、常時も運転することで、電力はもとより排熱を給湯や冷暖房に利用できる。
- ・コージェネの選定には、対象となる電源負荷と給湯・冷暖房とのバランスを考慮する必要がある。
- ・大型コージェネは敷地内の空き地や建物屋上に設置することになり、給湯や暖房用熱交換器の設置（冷水製造の場合は、廃熱利用吸収冷温水機など）や受変電設備の改修が必要になる。屋上に設置する場合は構造躯体の荷重チェックが必要になる。
- ・水冷方式のコージェネは冷却水を別途確保する必要がある。
- ・大型コージェネを常時運転する場合、住戸への騒音と振動防止対策が重要である。
- ・年1回の受変電設備の定期点検（電気事業法第42条に基づく保安規程）が必要となる。
- ・運転時間による定期点検を含めた専門業者によるフルメンテナンスが必要となる。

改修技術の概要

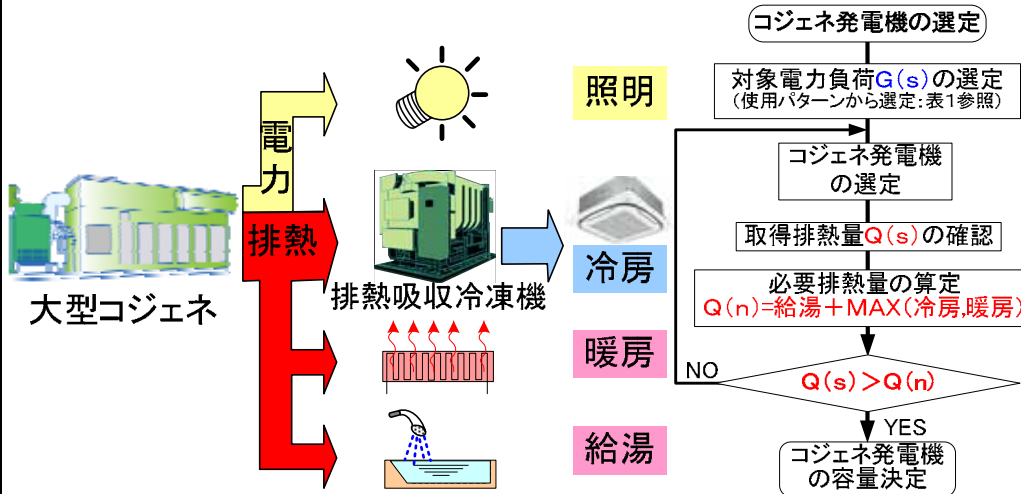


図1 コージェネ概念図

図2 コージェネ容量選定フロー

表1 コージェネ容量選定の例

	機器名称	電力負荷 (kW)	グレード			備考
			3	2	1	
大 ▲ 重 要 性 ▼ 小	(1) 給水ポンプ-1					飲料水ポンプ
	(2) 排水ポンプ-1					地下階用排水ポンプ
	(11) エレベータ-1					
	(12) エレベータ-2			x	x	
	(21) 換気ファン-1					
	(31) 照明器具-1			x	x	
	必要保安負荷 (kW)		(1~31)	(1~21)	(1~11)	
	選定機種名				x x *	

